



第 17 号

輝け、大越っ子

《かしこく・やさしく・たくましく》 発行 日 平成 29 年 12 月 7 日
 発行責任者 校長 根内 喜代重

めざせ自己ベスト！ ～校内マラソン大会 於：大越つつじヶ丘運動公園～

11月15日（水）には、1・2年生が1km、3年生が1.5kmのコースに、17日（金）には、4年生が1.5km、5・6年生が2kmのコースに挑戦しました。

開会式では、「最後まで頑張り、力を出し切りたいです。」「楽しく走りたいです。」「自己ベストをめざして1秒でも縮められるように走ります。」などのめあて発表がありました。



子どもたちは、ご家族のあたたかい声援を受けながら歯を食いしばって最後まで頑張り、見事に完走しました。ゴールした後のほっとした表情、やりきった表情が印象的でした。走り終えた仲間が最終走者を励まししながら、みんなでゴールをめざす姿も心に残りました。順位にこそ差がついても、心はいつも仲間とともに走っていました。お忙しい中を応援いただき、ありがとうございました。

なお、入賞者は次の表のとおりで、完走者全員に「記録証」があります。（※タイムが同じでも着順判定を優先します。）

学 年		第1位		第2位		第3位	
1 年	男	田中 竣慈	4分38秒	会田 樹	4分40秒	会田 怜生	4分41秒
	女	郷 歩海	5分12秒	荻野 佑奈	5分31秒	渡部 莉音	5分34秒
2 年	男	富塚 俊介	4分34秒	猪狩 柊也	4分35秒	田中 惟路	4分37秒
	女	柳沼 佑葉	4分39秒	柳沼 里咲	5分08秒	横田 美来	5分10秒
3 年	男	久保田浩貴	6分37秒	遠藤 琉矢	6分51秒	渡部 空輝	7分07秒
	女	渡邊 紫桜	6分48秒	野口 るな	7分04秒	渡邊 帆夏	7分21秒
4 年	男	富塚 凌	5分57秒	山口 唯斗	5分58秒	本田 大和	6分09秒
	女	根本 莉子	6分18秒	根本さくら	6分43秒	根本 実奈	6分46秒
5 年	男	石井 我一	8分59秒	渡邊 凌介	9分33秒	村上 龍真	9分34秒
	女	吉田 想	8分34秒	八木沼澤那	8分49秒	富塚 夕姫	9分00秒
6 年	男	久保田悠斗	7分50秒	富塚 悠人	7分50秒	熊谷 楊涼	8分04秒
	女	根本 麻生	8分17秒	三本木美紗	8分26秒	会田 凜	9分06秒

表現力を育むために！

「龍宮城を訪れるうらしま太郎」の場面(1年)

～表現活動ワークショップ「演劇教室」～

11月20日(月)、全校生が体育館に集い、表現活動の発表会を行いました。

田村市教育委員会が推進する「学校の元気を支援する事業」の一環として、本校が今年度から計画した活動であり、創作劇を通して主体性や創造性を高め、豊かな表現力を育むことをねらいとしています。

劇団「風の子 東北」を講師としてお招きし、今年7月から4回にわたって実施し、最終日であるこの日は、23グループに分かれて発表しました。

1、2年生は、「昔話の一場面」を写真のように表現する課題で、「うらしま太郎」や「つるのおんがえし」などの一場面(例えば、いじめられているカメを助けているところ)を写真のように表現することに挑戦しました。

3、4年生は、「新聞紙だけで作った道具」(例えば、箒やちりとり、バットなど)をすべて用いて創作劇を行うこと、5、6年生は、「3つのキーワード」(例えば、落ち葉・やきいも・さがし物をしている人)だけで何かを演じること、いわゆる無茶ぶりに応えなければならないという設定です。

子どもたちは、何かを人に伝えることの難しさを実感したようですが、それが表現力を高める意欲につながることを願っています。

学習発表会のように、シナリオに基づいて豊かに表現する力もちろん大切ですが、自分たちで試行錯誤しながら創りあげていく力も、これからの時代を生き抜く子どもたちにはとても大切なことです。

まわりで見ていると地道な活動のように見えますが、子どもたちの頭の中は大いに活性化しているはず。このような内面にあるものをできるだけ引き出そうとする活動が思考を深め、豊かな表現力につながっていくことを願いますとともに、今回の取り組みは、発表そのもの以上に、協力して創作する、その過程にこそ学びの意義があると考えています。



3つのキーワードは「夏休み・こわれた時計・しまへび」です(5年生)

私たちは、これまでの三回のワークショップを通して、物語の一場面を表現したり、連想ゲームをしたり、どうなれば面白くなるかなどを考えながら活動してきました。また、今日は関係のない三つの言葉を組み合わせ一つ場面をつくり出す活動をしました。どの活動も意外と難しく感じました。

でも、みんなといっしょに動きながら、試したり意見を出し合ったりすることで表現することができ、体を使って表現することの楽しさと、みんなで一つのものをつくるために、いろいろな考えや思いをつないでいくすばらしさを学びました。

いままで本当にありがとうございました。

児童代表 六年 久保田 優花

※発表会の最後に述べたお礼の言葉です。)



劇団「風の子」の先生にお礼を述べました。